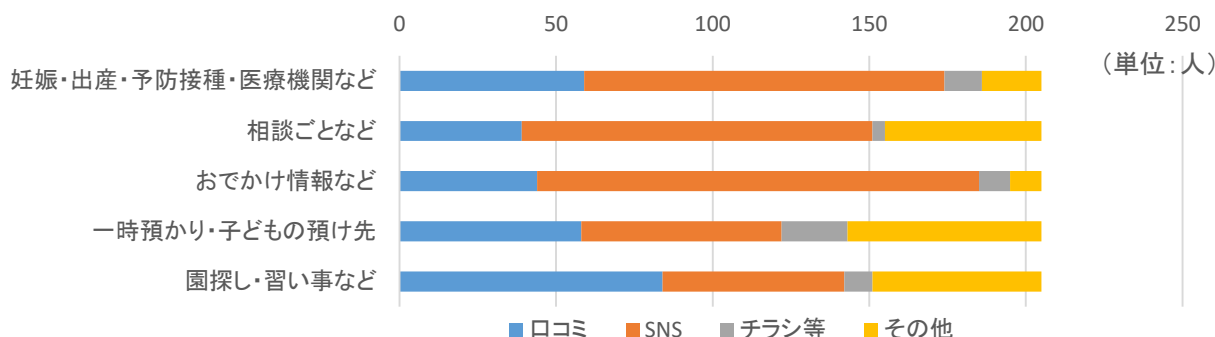


2022年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

実施期間：2023年1月（10日間）
回答数：205（大倉山：101 / サテライト：104）

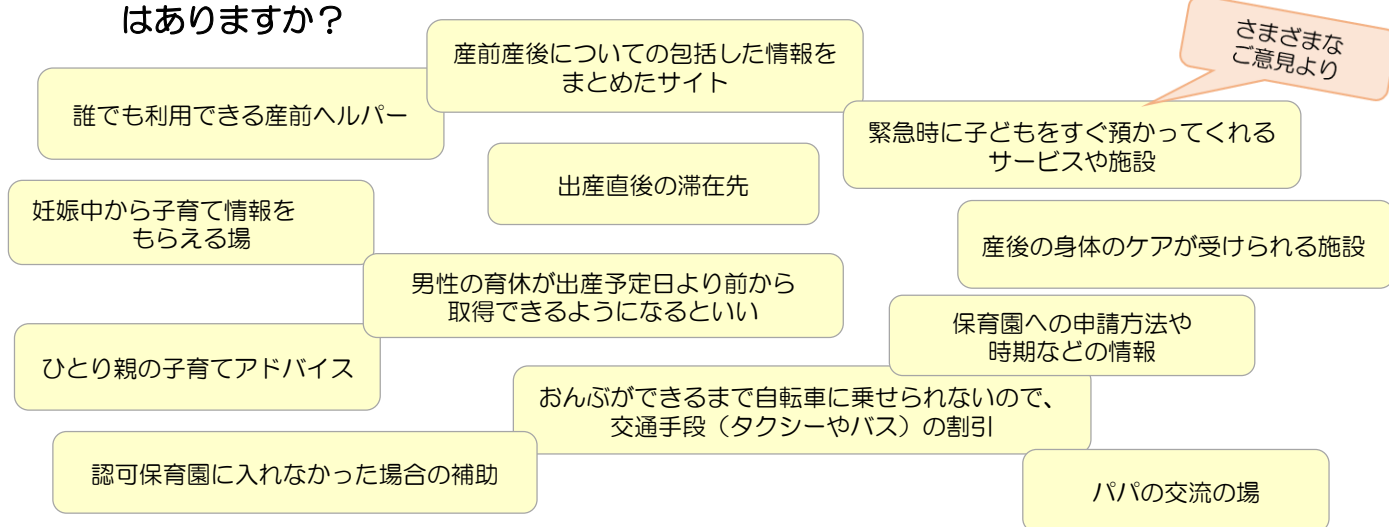
利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回のアンケートは全てタブレット端末から回答いただきました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

Q：子育て情報を得るとき利用しているツールを教えてください。



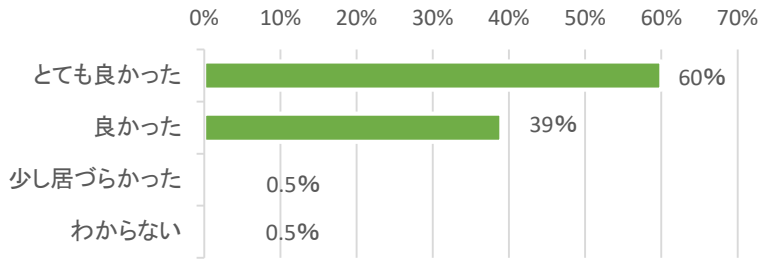
情報収集はどの項目もSNSを選んだ人が多かったです。その中で【園探し・習い事】は口コミが1位でした。実際に通っている人のリアルな情報を参考にしながら情報収集しているようです。【おでかけ情報】のように、すぐに知りたいことはSNSが便利ですね。【妊娠・出産・予防接種・医療機関など】は、1位のSNSを半数以上の方が選んでいます。2位の口コミも3割の方が選んでいます。まずはSNSで調べるけれど、人と人とのつながりから経験談なども合わせて情報を得ると安心感も感じられるようです。

Q：産前から今まで、あったらいいなと思うもの（制度やサービス・情報など） はありますか？



自由記述欄に多くの方からご意見をいただきありがとうございます。ひろばで過ごすみんなの想いやアイデア、情報の分かりやすい掲示方法など、皆さんの知りたいことが知りたい時に手に届くよう、『どろっぴみらいカフェ』（どろっぴのこれからについて利用者・スタッフが『みらい』を考え作り出す場）や日常のひろばでも利用者の皆さんと知恵を合わせて考えていけたらと思います。既にあるサービスも周知が足りていなかった気がありました。「今まであったサービスでは足りない」ことを、利用者さんからのコメントを通して市や区に伝えていくことも私たちの役割なのだと感じています。

Q：どろっぷの居心地はいかがですか？



フレンドリー アットホーム

ひとりで来ても安心

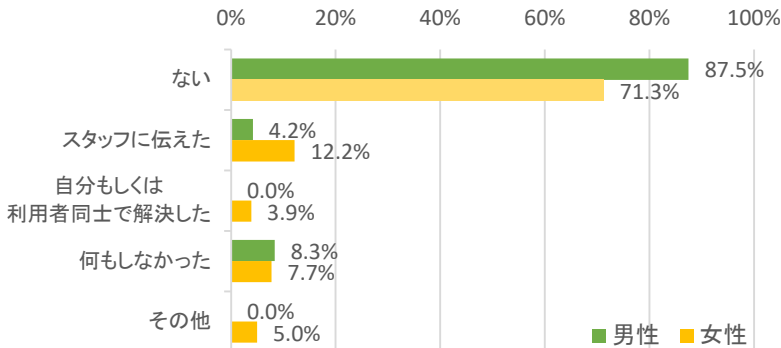
子どもがのびのび遊んでいる

子どもだけでなく、ママ・パパの気持ちも尊重してくれる

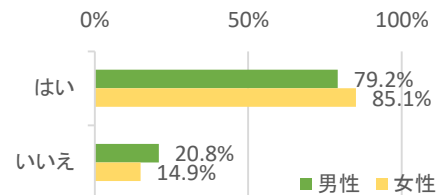
誰かと話せる 話しかけてくれる 話しかけやすい
話をきいてくれる 子の名札の年齢をきっかけに話す

居心地につながるキーワードとして「話す」が多く含まれていました。一言で「話す」といっても様々。話しかける人も、かけられる人も。その日、その時によっても、ちがうかもしれません。共に過ごすひろば、交流を重ねて、子どもも親も過ごしやすいひろばを目指したいと思います。

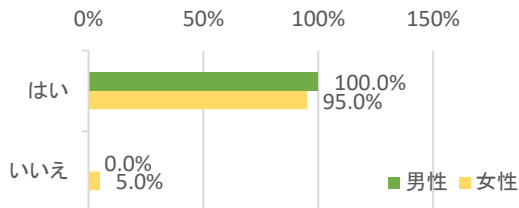
Q：どろっぷにいる時に困ったことはありますか？



Q：どろっぷにいる時「手を貸してほしい」と周りにいる人にお願ひできますか？



Q：どろっぷで周りにいる人が困っていたら「手伝おうか」と声をかけられますか？



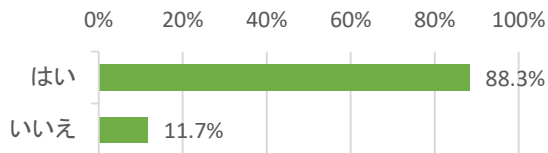
自分の子で手いっぱいなため、声をかけられない

スタッフには言えるけど、他人には言えない

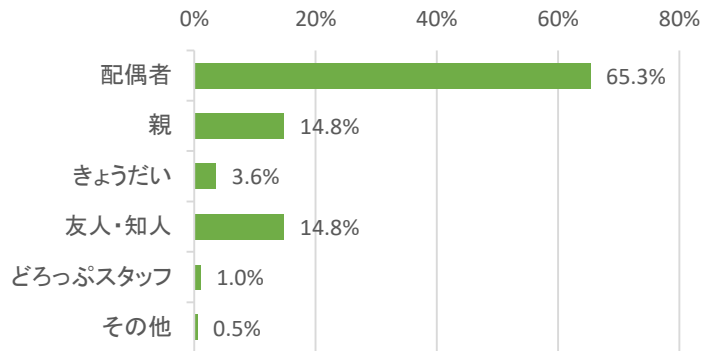
声をかけていいのかわからない

ほとんどのの方が「手伝おうか」と声をかけできると回答してくださっていますが、「いいえ」と回答している方の気持ちも知ることができました。困ったときはお互い様。「トイレに行く間、子どもを少し見てほしいな」「下の子を授乳している間、上の子はどうしよう」という時など、まずは頼るほうからでも声かけしてもらえたらと思います。子どもにとってもいろいろな関わりを得られる貴重な機会ですし、声をかけられると答えてくれた頼もしい方々が近くにいます。男女比もほとんど差がなく、フラットな交流があるようです。何か困ったことがあった時には、スタッフ、ボランティア、近くにいる方に声をかけてください。あなたの力になりたいと思っている人がいます。まわりの力を借りながらみんなで育てる、そんな居場所でありたいと考えています。

Q：育児に関する相談相手はいますか？

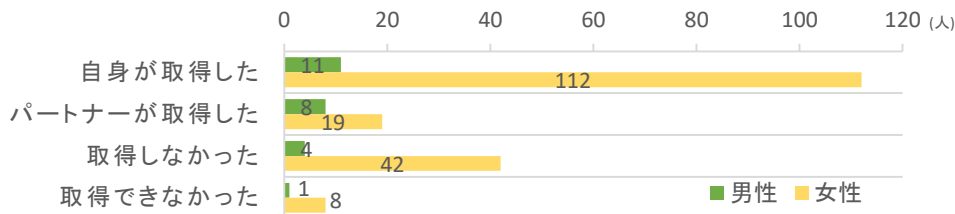


Q：一番よく相談する相手は誰ですか？

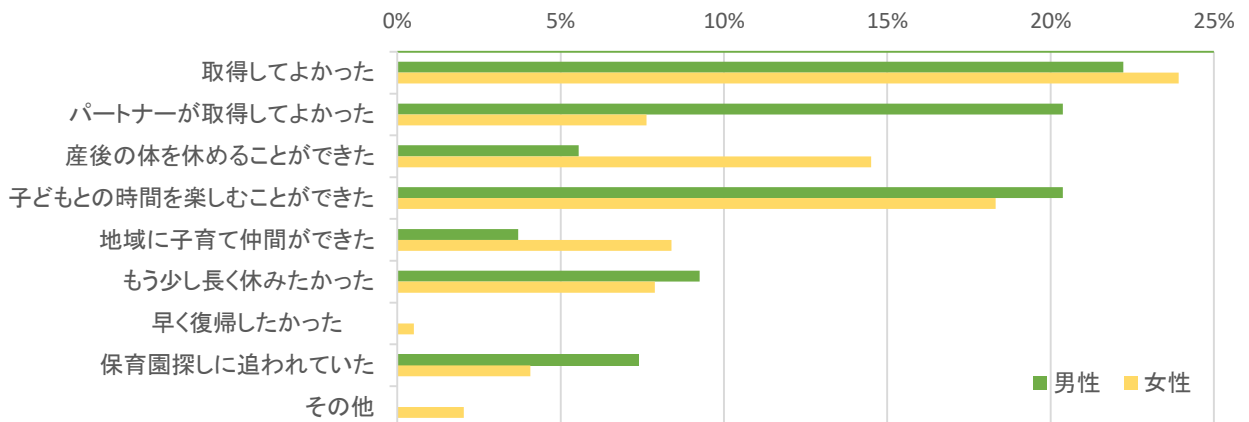


相談相手がない比率は昨年の6.3%から若干増えています。相談する相手がいる人の集計では、今年度は昨年に比べて配偶者・パートナーを選んだ人が約15%増えています。4か月健診での調査結果より里帰り出産が減少しているとの報告もあり、夫婦のみで子育てをスタートしている家族がコロナ禍で年5%ずつ増えているので、一番身近な配偶者・パートナーが相談相手となっているようです。どろっぷではひろばスタッフや横浜子育てパートナーにぜひ声をかけてください。

Q. 育児休業を取りましたか？

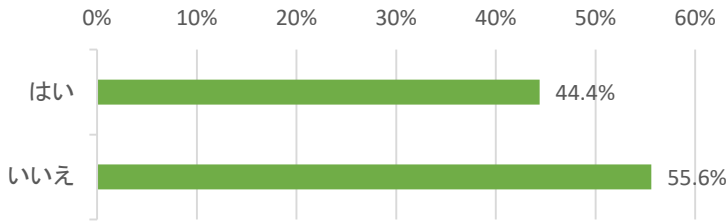


Q. 育児休暇を取得してどのように感じましたか？ （「自身／パートナーが取得した」方のみ、延べ）

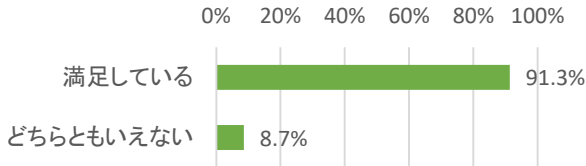


育児休暇は短い期間ですが、親子が一緒に過ごし愛着を育む大切な時間になりますね。地域に一步踏み出して多様な世代の方々と見守り合いながら、いろいろな人の手を借りて子育てが出来たらと思います。

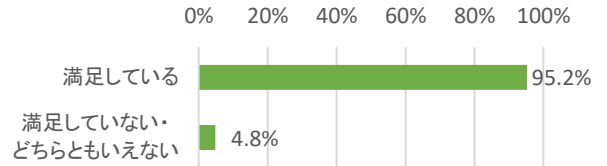
Q：「ひととき預かり」を利用していますか？



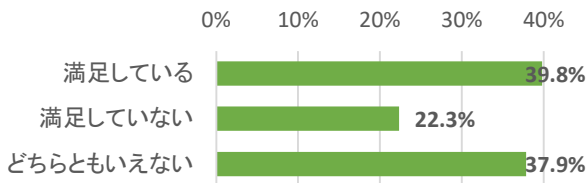
Q：預かり中の子どもの過ごし方はいかがですか？



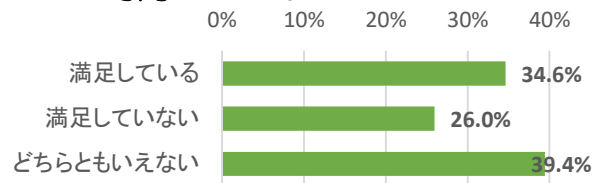
Q：金額について



Q：予約方法について

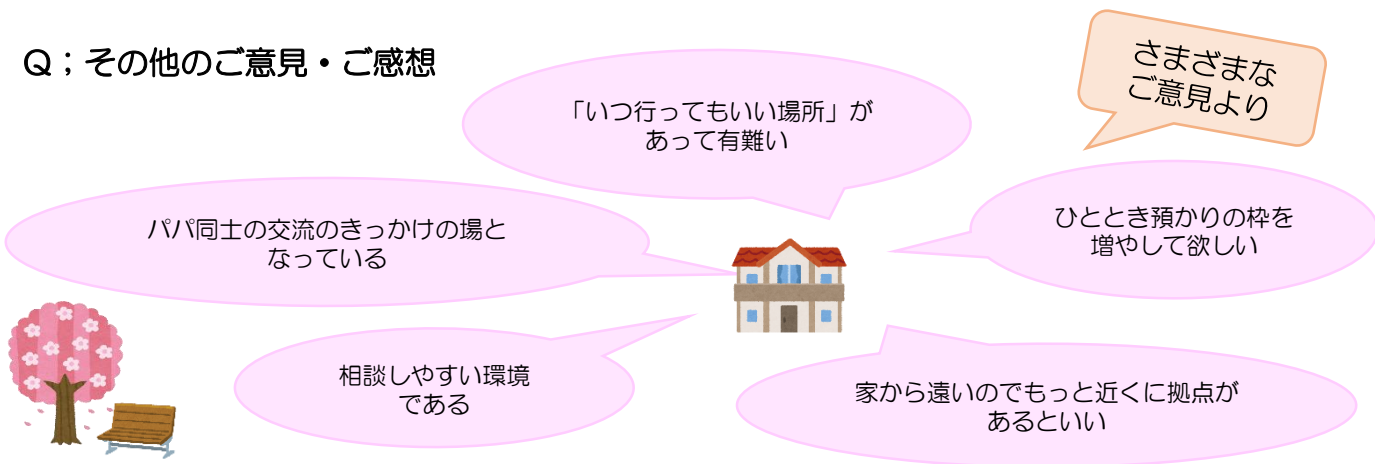


Q：預かり日数、時間について



ひととき預かりを利用していない方が半数以上でした。預かり日数や時間への満足度が低いことから、感染状況が少し落ち着いてきて利用を希望されていても預かり枠が充足していない現状を感じます。ご意見の中には「慣れた環境で顔なじみのスタッフさんに預かってもらえるので安心」といった声も聞かれました。預かっている子どもひろばにいる利用者さんも一緒に楽しく過ごせるようにしていきたいと思っています。

Q：その他のご意見・ご感想



お答えいただいた皆さんそれぞれが『自分の居場所』として捉えてくださっているようです。ひととき預かりについては、今後とも前向きかつ柔軟に対応していきたいと思っています。ひろばには『みんなのピアノ』や『まちライブラリー(本)』等があるので、就学してからもどろっぴに関わり楽しむことができます。地域の小学生ボランティア、お母さん・お父さんボランティアも大歓迎！引き続き『子どもをまん中』にみんなでどろっぴのひろばを作っていきたいと思っています。